

朗読劇

いのちの政治家 山本孝史物語

兄のランドセル

田中 健



2012.11.25日

会場／釜石高等学校石楠花(しゃくなげ)ホール

○第1回公演／ 11:00 開演 (10:30 開場 終演 12:30 予定)

○第2回公演／ 13:30 開演 (13:00 開場 終演 15:00 予定)

主催／朗読劇「兄のランドセル」実行委員会

共催／山本孝史のいのちのバトン NPO法人 蜘蛛の糸

協力／岩手県立釜石高等学校

後援／岩手県教育委員会、釜石市、釜石市教育委員会、テレビ岩手、IBC岩手放送、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、岩手日日新聞社、岩手日報社、釜石新聞社

朗読劇

兄のランドセル

——いのちの政治家 山本孝史物語——

主催者挨拶



「山本孝史のいのちのバトン」代表 山本 ゆき

朗読劇「兄のランドセル ～いのちの政治家 山本孝史物語」釜石公演にあたり、開催にご尽力くださいました皆様に心より感謝申し上げます。

震災の被害で劇の開催場所が限られる状況の中で、釜石高等学校の佐藤猛夫校長が、「うちの高校にホールがあるから使ったらよろしい」と言ってくださったのが今年5月。その後、野田武則市長と川崎一弘教育長にお会いさせていただき、おふたりからも心からのご賛同を賜りました。また、釜石高等学校吹奏楽部指導者の山崎眞行先生と岩手自殺防止センターの藤原敏博代表が劇への出演をご快諾くださったことも、本公演の大きな推進力になりました。重ねて御礼申し上げます。がんに侵されながらも、「最後まで命を守る仕事をしたい」と国会で仕事を続けた参議院議員山本孝史(たかし)。彼の生涯を貫いた「いのちへの思い」を被災地の皆様お一人おひとりの心の中にお届けできたらと思っています。

本日は、石楠花ホールにお運びいただき誠にありがとうございました。

「兄のランドセル」 あらすじ

原作・脚本／山本 ゆき

孝史には3つ年上の兄がおりました。巨彦(のぶひこ)といいますが、1955年(昭和30年)、大阪・船場の自宅前でランドセルを背負ったまま遊んでいて、バックしてきたトラックにひかれ、8歳で命を絶たれてしまいます。その時孝史は5歳。兄の姿を追い求めますが、もうどこにもいません。

1993年衆議院に初当選を果たした日孝史は巨彦の形見のランドセルに誓います。「兄ちゃん、僕、命を守る政治家になって、兄ちゃん分まで頑張るよ。死ななくてもいい命がいっぱいあることを教えてくれたのは兄ちゃんだから」と。以来、ランドセルを宿舍の手元に置いて、薬害エイズ、臓器移植法、難病患者・障がい者支援、被爆者援護法、自殺対策と次々に「いのちの政策」に取り組みます。2005年、そんな孝史をがんが襲います。「余命半年」の宣告。死と向き合いながら、「一日一生」の思いで国会議員としての責任を果たそうとする孝史。そして、「自殺対策基本法」と「がん対策基本法」をこの世に残し、58歳でその生涯を閉じます。兄・巨彦のランドセルは再び主を失うことに……。

【山本ゆきプロフィール】

山本孝史の妻。1951年生まれ。秋田県湯沢市出身。津田塾大学卒業後、中学校の教職につく。孝史と結婚後は、NHK・BS放送等で翻訳の仕事に従事。孝史没後、夫の志を継いで、「山本孝史のいのちのバトン」を立ち上げる。執筆・講演等で孝史の「いのちのメッセージ」を伝えながら、自殺防止・がん患者会活動を続ける。「大阪がん医療の向上をめざす会」共同代表。



原作「兄のランドセル」
山本ゆき著 朝日新聞出版

演出にあたって



田中 光敏

山本ゆき著『兄のランドセル～いのちの政治家 山本孝史物語』。この本で、僕は山本孝史さんと出会いました。今、政治に失望感が広がる時代に、私たち国民と同じ目線で純粋な志をもった政治家がいたことを知り、希望が湧いてきました。この本で、山本孝史さんに出会って、昨年12月の大阪公演、今年4月の秋田公演に続き、この度、東日本大震災の被災地・釜石の地で演出をさせていただくことに、大きな意義を感じております。

山本さんは命をかけて、命を守る政治家を貫きました。そんな気骨のある山本さんを舞台で再び蘇らせたい。そして、生前山本さんが伝えようとしていたメッセージを、被災地の皆様にお届けできればと思っています。

プロフィール：映画監督。1958年生まれ、北海道出身。

代表作に「化粧師 KEWAISHI」「精霊流し」「火天の城」など。

主 演



田中 健

1972年、歌手デビュー。74年、俳優に転身。75年の『青春の門』で鮮烈な印象を残す。「オメダ」役の同年のテレビドラマ『俺たちの旅』(NTV)は代表作に。以降主演作品多数。93年、映画『望郷』(東宝)は数々の映画賞に輝く。南米でケーナと出会い90年、ケーナ奏者としてもデビュー。5枚のアルバムをリリース。特に田中健アレンジバージョン『コンドルは飛んで行く』は高評価。2009年、テレビ東京系列『ルビコンの決断』で山本孝史役を熱演。2012年4月に新曲「あなたがいるから」を発表。同年4月22日に、震災の被災地岩手県釜石市を訪れ、釜石埠頭で慰霊のケーナを吹き、平田仮設住宅では住民の方々と交流。また、大槌町で津波と火災被害にあった小川旅館跡地でもケーナを吹き再興を祈った。



小坂 和子

精神保健福祉ボランティア「れもんの会」代表。「自殺防止 秋田・こころのネットワーク」会長。心の悩みの相談にのる。昭和33年から、中学校の部活動として演劇に関わり、現在は脚本も手がけ、二人芝居も。絵本の読み聞かせや紙芝居、語りなどで学校や福祉施設の慰問活動を精力的に行う。5年前、「ひとりじゃないよ」を作詞。イベント等で歌いながら人の輪を広げたいと願う。釜石、大槌、山田町も何度か訪れ、住民の皆さんと交流を深める。本公演では山本ゆきの役。

共演者たち



佐藤 久男 (NPO法人「蜘蛛の糸」理事長)

1943年生まれ。2002年6月、知人の経営者が自殺したのを契機に、中小企業経営者とその家族を支援するNPO法人「蜘蛛の糸」を設立。倒産に伴う中小企業経営者とその家族の自殺予防活動を開始。活動から9年目の2011年、秋田県の自営業者の自殺者数が52%減少。2012年、県「ふきのとうホットライン」相談窓口を開設。現在、釜石市、大槌町、山田町などで事業立ち上げ等の相談にのる。劇では、あしなが育英会の玉井義臣会長役。



田口 尚樹

中学2年生。演劇部に所属。初舞台は「人形館」。『兄のランドセル』を読み、山本孝史が親を亡くした子供たちの支援をし、自分のがんになって大変な時に「がん対策基本法」と「自殺対策基本法」の法案成立に全力を尽くしたことを知る。「僕も人の役に立てるような大人になりたい」と抱負。



藤原 敏博

1952年生まれ。岩手県陸前高田市出身。平成20年9月に岩手自殺防止センターを立ち上げ、平成21年12月5日盛岡市内で電話相談活動を開始し現在に至る。現在は電話相談及び陸前高田を中心とした仮設住宅の戸別訪問活動を行っている。朗読は初挑戦。



佐藤 正和

1999年、劇団シアター・ル・フォコンブルに入団。2001年時限劇団結成に参加。「赤いヒト」「ピース・ピース・ピース」「怪談秋田牡丹燈籠」「郵便配達の恋」「兄帰る」等に出演。「山本孝史さんの生き方を見て、自分の役割というもの全うしたいものと思う」と。がん患者の心に寄り添う医師の役。



近藤 美奈子

2001年時限劇団、2011年時限劇団に参加。現在、出版社の営業職の傍ら、秋田マックの理事を務める。自死遺族のケアや依存症問題に取り組み、講演活動も行う。「秋田市手をつなぐ育成会」評議員。劇では扇千景参議院議長役。緊迫した国会の議場の雰囲気を出せるようにと張り切る。



佐藤 晴花

小学2年生。学校では教科書の音読の時間が楽しい。ピアノの練習もしている。絵も得意で、お友達の顔を描いた線画は、平成23年度秋田市クローキー巡回展で入賞。劇では、交通遺児の作文を読む。NPO法人「蜘蛛の糸」の佐藤久男理事長の孫。

特別出演



山崎 眞行

釜石市のフルート奏者。国立音楽大卒業。元岩手大学教育学部音楽科講師・日本フルート協会理事。釜石の第九指揮者・釜石市民吹奏楽団指揮者。甲子うたう会指揮者。Sing 主宰。釜高吹奏楽部コーチ。山崎音楽教室を主宰。震災前まで、釜石市で教室を開いていたが、津波に襲われ、楽器や楽譜をすべて流された。現在、市内の仮設住宅で暮らしながら若手音楽家を育成・指導する。音楽を通して感謝の気持ちを伝えたいと、全国で講演や演奏活動を展開している。

- 演出／田中 光敏 ■舞台監督／佐藤 泰王
- 音響／小松 卓 ■映像／相澤 崇紀 ■照明／照井 晨市
- 効果／犬丸 正弘 ■音楽／大谷 幸
- 資料提供／あしなが育英会・朝日新聞社・京都 YMCA・大阪 YMCA
- 協力／(株)秋田ステージ・(株)盛岡舞台総合研究所・(株)ライナーハウス・(株)アド電通大阪・(株)ウィズ



秋田公演(2012年4月21日)より

応援メッセージ

◆燃やせるいのちこそ最大の資産です。夢をふくらませて生きることの幸せを共有したい!! (愛媛 田村節美)

◆私たち細胞検査士は、がんの2次予防に関わる業務に日々励んでいます。たくさん大切な人を、ものを失った日本ですが、支え合える社会としての復興を共にめざしましょう。(大阪 清水恵子)

◆好きな言葉があります。「オーバー・ザ・レインボー」。虹の彼方に命をつなぐ私たちは、虹の彼方の希望に向かって一歩ずつ、歩を進めたいと思います。でも、無理せず、肩の力を抜いて…(奈良 岡田藤男)

◆釜石高校吹奏楽部の皆さん、昨年8月に大阪駅や甲子園で演奏し、歌ってくださってありがとう。5月に完全復旧した釜石製鉄所の水色の鉄道バスができたのですね。皆さん、お身体を大切に。(大阪 三上智子)

◆「兄のランドセル」釜石公演、おめでとうございます。今、日本に、被災地に山本孝史さんがいてくださったらという思いでいっぱいです。皆さんに、山本さんの「命のメッセージ」が届きますように。(大阪 青木 勝)

◆「がんばれ、東北、がんばれ、釜石!」 私たちは、皆さんが頑張っておられることを決して忘れない!(広島 広岡圭一郎)

◆未曾有の東日本大震災の犠牲者の方々のご冥福をお祈りし、人や物的な甚大な被害を受けられた皆様にお見舞い申し上げます。国、地方自治体による復興促進を願い、皆様方の生活安定が早からんことを願っています。(大阪 伊東禮二)

◆昨年12月15日に大阪で行われた『兄のランドセル』公演の第2部に出演された、落語家の笑福亭松喬しよきょうさんは、当日、肝臓がんの診断を受けられた直後だったということを知りました。今は、病気と付き合いながら、高座に復帰されています。皆さんも希望を失わず前を向いて進んでください。(大阪 稲毛洋子)

◆この度の大震災で茫然自失の日々の中、一歩ずつ復興の道を歩いておられる皆様に、遠く大阪・堺から心からの応援の気持ちを送ります。現地にはなかなか行けず、福島の小5の男子を1週間預かる支援をいたします。(大阪 林 知子)

◆「苦難は幸福の門」といいます。幸福の門の扉を強く押し開いてください。(大阪 小野元裕)

◆東日本大震災で被災された皆様に心からのお見舞いを申し上げます。山本孝史国会議員とは、約20年間、難病や障がい者支援などで一緒に活動しました。山本孝史は皆さんとともにいると思います。(大阪 藤井昭三)

◆大震災に見舞われた皆さん、お身体を大切にしてください。(大阪 戸川禎三)

◆高校生の皆さん、若い力を、地域の復興に役立ててください。微力ながら応援しています。(東京 飯島久司・孝子)

◆被災された方々のご苦労には頭の下がる思いです。震災時の素晴らしい美德や助け合いの精神に世界中の人が驚き、日本人に対する認識を新たにしました。そして今、震災を風化させないことが我々の使命だと思います。(大阪 米川俊信)

◆「普通」が一番なのに何かと不平・不満をもってしまるのが煩惱多き人間です。一日も早く、「普通」が被災者された方々に戻ってくることを祈っております。(大阪 奥村俊彦)

◆不治のがんに侵されながら、「自殺」と「がん」の二つの法律の成立に命をかけた山本孝史さんは、衆議院に初当選以来、厚生分野一筋に活動されました。今、ご健在なら、被災地・国民のために頑張ってくれているはずです。朗読劇では山本氏の「いのちのメッセージ」が伝えられることでしょう。一日も早く復興することを祈ります。(大阪 山地一男)

◆山本さんには、アメリカに留学していた頃お世話になりましたが、とても温かい責任感の強い方でした。今の政治の状況を見るにつけ、ご健在であつたらと思っています。いのちの政治家山本さんの思いが被災地に響きますように。(東京 迫井育子)

◆東北の冬は寒さが厳しいかと思います。お元気でいてください。応援しています。
(大阪 松井佐知子)

◆震災で肉親を亡くされた方々が多くおられますが、一生懸命頑張っておられる姿をテレビで見て感動することがいっぱいあります。頑張ってください。福島で姪の一家が頑張っています。

◆もし、ひとりで悩んでおられるかたがいたら、誰かに相談してみてください。

他に、井上 謙様、吐 正人様、秋岡 純様、浅田善嗣様、田中啓子様、岸本恵里子様、鶴岡 誠様、河合紀子様、河田英子様からもご協賛をいただきました。ありがとうございました。



◆岩手県釜石市や被災地の復興への活力を、私も、恐らく日本国民全員が支えています。一日も早い復興を!(大阪 小幡 靖)

◆震災の被災地での朗読劇「兄のランドセル」公演は、山本孝史さんの「いのち」を大切に思う心になうものです。被災者の皆さんの「いのちへの思い」と重なることと思います。(奈良 鴻池司朗)

◆被災された皆様のことを思うと涙があふれて言葉になりません。ただ皆様が前向きに生活されていることが私の励みになります。あきらめない姿をありがとう!(大阪 渡辺くるみ)

◆困難な状況におかれても、余命を宣告されても、諦めず、絶望せず、自らの命をかけて、他人の命を守ろうとした人がいました。山本孝史さんのその姿を、生きざまを見て、聴いて共感してくださったら嬉しいです。(富山 菊山 譲)

◆復興に向けて一歩、また一歩と歩み始めた被災地の皆さんへ。瓦礫の傍らに咲いたひまわりのように、皆さんの「力強さ」に私たちが励まされています。
(東京 東 加奈子)

◆東北の皆様に山本孝史さんの思いが届きますように。「兄のランドセル」釜石公演の成功を祈ります。
(大阪 岡本栄一)

◆山本孝史さんとは、清水谷高校、立命館大学と同じ時代を生きてきました。ゆきさん、どうぞ孝史さんの志を引き継いで、被災地の皆様へ彼の「いのちのメッセージ」をお伝えください。(大阪 神澤美知子)

◆山本孝史さんの「物凄い大病になったからあれもでけへん、これもでけへんというマイナスの引き算やなくて、次はこれができるあれができるという足し算——そういう人生があるんや」(『兄のランドセル』)の言葉に感銘を受けました。朗読劇の再演を喜んでいます。(東京 山田和子)

あなたが いるから

■歌／田中 健 ■作詞／小林篁次 ■作・編曲／若草 恵

幾年が 過ぎたでしょう
あなたと歩んだ 道程（みちのり）は
人の生き方 教えてくれた人
互いに磨き合い 互いに心高め合い
人に尽くせる そんな生き方
それがあなたの何時もの 口癖ですね
輝く瞳が こんなに暖かい
私も勇気が 勇気が漲（みなぎ）る

アルバムを 開いたら
あの日のままの 二人です
口に出すのは 少し照れるけど
いつでも優しい あなたのその目差し（まなざし）を
いついつまでも 守りつづけたい
それは私の 大切なあなただから
今日も明日も 永久（とわ）に守りたい
それが私の 心の誓い

あなたを花に譬（たと）えれば
きっと クロッカスでしょう
春告げて 心開いてくれたから

ビコーズ あなたが ビコーズ いるから
ビコーズ あなたが あなたが いるから
ビコーズ あなたが ビコーズ いるから
ビコーズ あなたが あなたが いるから

